

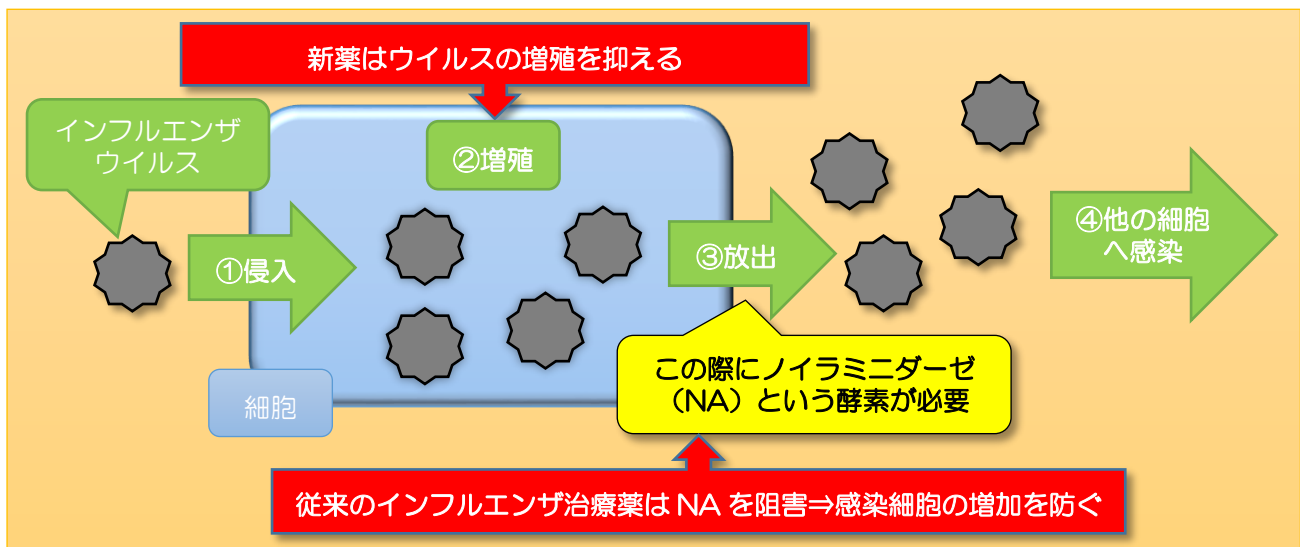
おくすり通信

No. 8 インフルエンザの治療

こんにちは、薬剤科です。今回はインフルエンザの治療薬についてご紹介します。前回の10月号ではインフルエンザの予防について紹介しているので、予防方法が気になる方は先月号をチェックしてみてください。

《インフルエンザの感染機序》

インフルエンザはインフルエンザウイルスによって起こる感染症です。ウイルスにはA、B、Cの3つの型があり、流行するのはA型とB型です。ウイルスは①細胞の食作用によって細胞内に取り込まれ、②その細胞に必要な材料を作らせて増殖します。③増殖したウイルスはノイラミニダーゼ（NA）という酵素により細胞外へと放出され、④他の細胞へと感染を拡大していきます。



《インフルエンザの治療薬≠ウイルスを殺す》

タミフルなどのほとんどのインフルエンザ治療薬はNAを阻害することでウイルスが細胞の外へ放出されることを防ぎ、感染細胞が増えないようにしています。今年発売されたソフルーザは感染細胞内でのウイルスの増殖を抑えます。ウイルスを殺すわけではないので、ウイルスが増殖してしまった後に使用しても効果が発揮されません。症状が現れてから48時間後に投与した際の有効性ははっきりしていませんので、疑わしいと思ったらすぐに医療機関にかかるようにしてください。

また、インフルエンザ発症後3～7日間は鼻やのどからウイルスが排出されます。熱が下がったとしても治療薬はしっかりと使いきるようにし、ウイルスを排出している間は外出を控えるようにしましょう。

治療薬	タミフル（内服）	リレンザ（吸入）	イナビル（吸入）	ラビアクタ（点滴）	ソフルーザ（内服）
使用法	1回1カプセル	1回2吸入	1回4吸入	1回15分	1回2錠
	1日2回5日間	1日2回5日間	単回投与	単回投与	単回投与
薬剤費	2,720円	2,940円	4,278円	6,216円	4,788円

※薬剤費は治療あたりの総薬剤費です。

そのほか、気になる点がございましたら、お気軽にご相談ください。